※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００１

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	地域・障がい者福祉	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では障がい者の身体的・心理的環境や生活・社会背景について理解し、より良い生き方のために必要な支援について学びます。授業ではオリジナルプリントを中心に映像教材や実技などを通じて必要な技術を身につけます。将来、福祉や看護の分野に関心のある生徒、身近な人のために役立てたい生徒にぴったりです。

２　学習の到達目標

障がい者のより良い生き方のために必要なことを学びます。
(1) 障がい者の身体的・心理的環境や生活・社会背景について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
(2) 障がい者の身体的・心理的環境や生活・社会背景福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
(3)障がい者のより良い生き方のために自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体 的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	障がい者の身体的・心理的環境や生活・社会背景について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けているか定期テスト等で評価する。	障がい者の身体的・心理的環境や生活・社会背景福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けているか定期テスト等で評価する。	障がい者のより良い生き方のために自ら学び、福祉社会の創造と発展に主体 的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか、映像教材の感想や小論文等で評価する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	障がい者と生活①	(1)肢体不自由者の生活 (2)聴覚障がい者の生活	a:学んだ障がいと生活について基本的な知識を身につけている。 b: 学んだ障がいと生活について考察し、自分なりの考えを表現しようとしている。 c: 学んだ障がいと生活について知識を生かして実践に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	感想プリント
	障がい者と生活②	(1)視覚障がい者の生活 (2)知的障がい者の生活	a: 学んだ障がいと生活について基本的な知識を身につけている。 b学んだ障がいと生活について考察し、自分なりの考えを表現しようとしている。 c: 学んだ障がいと生活について知識を生かして実践に取り組もうとしている。	ワークシート、定期テスト	ワークシート、定期テスト	感想プリント
後期	障がい者と生活③	(1)精神障がい者の生活 (2)発達障がい者の生活	a: 学んだ障がいと生活について基本的な知識を身につけている。 b: 学んだ障がいと生活について考察し、自分なりの考えを表現しようとしている。 c: 学んだ障がいと生活について知識を生かして実践に取り組もうとしている。	ワークシート	ワークシート	感想プリント
	共生社会について	(1)学校教育の変遷と現状 (2)ともに暮らすために必要なこと	a: 学校教育の変遷と現状、ともに暮らすために必要なことについて基本的な知識を身につけている。 b: 学校教育の変遷と現状、ともに暮らすために必要なことについて考察し、自分なりの考えを表現しようとしている。 c: 学校教育の変遷と現状、ともに暮らすために必要なことについて知識を生かして実践に取り組もうとしている。	ワークシート、定期テスト	ワークシート、定期テスト	感想プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度